

にちにち通信

Monthly newsletter

Vol. 6

“できた”より、“気づいた”を大切に

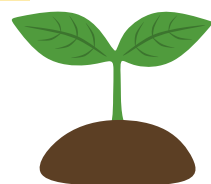
新年度が始まって1ヶ月。子どもたちはもちろん、大人もがんばっている時期ですね。慌ただしく過ぎていった1ヶ月だった…という方も多いのではないのでしょうか。気持ちも生活も慌ただしくなると、ついつい「できたか」「できていないか」といった“成果”に目がいきがちになります。

結果もちろん大切なこと。でも、結果ばかりに目を向けると、自分にも子どもにもプレッシャーがかかり、息苦しさにつながってしまうこともあります。

そんなときこそ、「できた／できない」ではなく、「**どんな気づきがあったか**」に目を向けてみませんか？

小さな気づきの中に、思いがけない可能性の種が見つかることもあります。

“できた”を褒めるのは素敵なこと。でも、“**気づいた**”ことを言葉にして**伝え合うこと**で、子どもも大人も、もっと安心してつながれる関係が育っていくのではないのでしょうか。



にちにちを受講された方のお声

いつも面談の時間がとても楽しくて、終わると子供との時間が楽しみになるような1時間でした。学校のカウンセラーとの面談や塾での相談、担任への相談など、これまでいろいろ方にご相談してきましたが、くみさんのプログラムは、とても**共感的で威圧感がなく**、安心して本音で話せる場でありながら、きちんとエビデンスのある子どもとの関わり方を具体的に教えて下さるので、面談後の行動を変えることができ本当に有効なプログラムだと思います。

このプログラムを全国のスクールカウンセラーに普及してほしいと思います！

Mさん（中3女の子のお母さん）

嬉しいお言葉、ありがとうございます！
思春期という難しい年頃のお子さんに対して、一緒に考え試行錯誤した時間が愛おしいです。状況が改善し、前に進まれるお子さんとMさんをこれからも応援しています！

にちにちは中学生も対象です！

関わりに難しさがあればひ

頼っていただければと思います。

理論をもとにサポートいたします。

